

「城野駅北地区（第 街区）まちづくり基本計画協定」に基づく

事業計画書

【低中層住宅エリア】

（平成27年11月版）

平成〇〇年〇〇月

申請者氏名



目次

1	事業場所
2	事業者名
3	建築物の事業計画
4	工程
5	開発基本方針
6	CO ₂ 削減の取組など	
	(1) 戸建住宅
	(2) 集合住宅
	(3) 非住宅建築物（生活利便施設）
	(4) 入札対象の土地の開発（二次開発）
	(5) 住宅におけるCO ₂ 削減率の算定
7	タウンマネジメントに関すること
8	エネルギーマネジメントに関すること
9	グリーンマネジメントに関すること
10	その他

【提出資料】

別表①「具体的な取り組み内容（A：戸建住宅）」
別表②「具体的な取り組み内容（B：集合住宅）」
別表③「具体的な取り組み内容（C：生活利便施設）」
別表④「具体的な取り組み内容（D：二次街区）」

図面1	土地利用計画図
図面2	外構計画図兼建物配置図
図面3	平面図
図面4	立面図
図面5	断面図

1 事業場所

2 事業者名

3 建築物の事業計画

< 棟 >

建物用途：

構造：

規模：

(1) 戸建住宅

タイプ	敷地面積	階数	戸数	備考
	～ m ²	階	戸	
	～ m ²	階	戸	
	～ m ²	階	戸	
合計			戸	

(2) 集合住宅

タイプ	間取り	専用面積	戸数	備考
		～ m ²	戸	
		～ m ²	戸	
		～ m ²	戸	
		～ m ²	戸	
		～ m ²	戸	
合計			戸	

(3) 非住宅建築物

主たる用途	敷地面積	件数	備考
	m ²	件	
	m ²	件	
	m ²	件	
	m ²	件	
	m ²	件	
	m ²	件	
合計		件	

(4) その他

主たる用途	敷地面積	概要
	m ²	
	m ²	
	m ²	
	m ²	
	m ²	

4 工程

5 開発基本方針

6 CO2削減の取組など

(1) 戸建住宅

項目		整備条件	計画戸数/全戸数	
建築物	①-1 長期優良住宅の認定	必須 (何れか1つ)	戸/戸	戸/戸
	①-2 低炭素住宅の認定		戸/戸	
	② 太陽光発電設備の設置	推奨	戸/戸	
	③ 高効率給湯器の設置	推奨	戸/戸	
	④-1 家庭用燃料電池の設置	推奨 (何れか1つ・ 1/2以上)	戸/戸	戸/戸
	④-2 太陽熱給湯設備の設置		戸/戸	
	⑤ CEMSと連携可能でECHONET Liteに準拠したHEMSの設置	必須	戸/戸	
	⑥ 常時接続された通信環境の整備	必須	戸/戸	
その他	⑦ 高さ2.5m以上の中高木2本以上/戸を植栽	必須	戸/戸	
別表①「具体的な取り組み内容（A：戸建住宅）」の取組状況		「別表①」による		
上記以外で、環境に配慮した取組				

(2) 集合住宅

項目		整備条件	計画数/全体数	
建築物	①-1 長期優良住宅の認定	必須 (何れか1つ)	棟/棟	棟/棟
	①-2 低炭素住宅の認定		棟/棟	
	② 太陽光発電設備の設置	推奨	棟/棟	
	③ 高効率給湯器の設置	推奨	戸/戸	
	④-1 家庭用燃料電池の設置	推奨 (1/2以上)	戸/戸	
	④-2 太陽熱給湯設備の設置		戸/戸	
	⑤ CEMSと連携可能でECHONET Liteに準拠したHEMSの設置	必須	戸/戸	
	⑥ 常時接続された通信環境の整備	必須	戸/戸	
	⑦ 高圧一括充電設備の設置	推奨	棟/棟	
その他	⑦ 高さ2.5m以上の中高木2本以上/165㎡※を植栽 (※:敷地面積から建築物の建築面積を除外した面積)	必須	本/㎡	
別表②「具体的な取り組み内容(B:集合住宅)」の取組状況		「別表②」による		
上記以外で、環境に配慮した取組				

(3) 非住宅建築物

項目		整備条件	計画戸数／全戸数	
建築物	①-1 太陽光発電設備の設置	必須 (何れか1つ)	戸 / 戸	戸 / 戸
	①-2 太陽熱給湯設備の設置		戸 / 戸	
	② CEMS と連携可能な BEMS 相当の機能を持つ設備の設置	必須	戸 / 戸	
	③ 常時接続された通信環境の整備	必須	戸 / 戸	
その他	④ 敷地面積 165 m ² あたり高さ 2.5m 以上の中高木 2 本以上を植栽	必須	戸 / 戸	
別表③「具体的な取り組み内容（C：生活利便施設）」の取組状況		「別表③」による		
上記以外で、環境に配慮した取組				

(4) 入札対象の土地の開発（二次開発）

項目	整備 条件	計画戸数／全戸数
別表④「具体的な取り組み内容（D：二次 街区）」の取組状況	「別表④」による	
上記以外で、 環境に配慮した取組		

(5) 住宅におけるCO2削減率の算定

①総括表

<ベースラインのCO2排出量>

タイプ	ベースラインの CO2排出量 (CO2-t/戸・年)	計画戸数	ベースラインの CO2総排出量 (CO2-t/年)
		戸	
		戸	
		戸	
		戸	
		戸	
合計		戸	

<対策後のCO2排出量>

タイプ	対策後の CO2排出量 (CO2-t/戸・年)	計画戸数	対策後の CO2総排出量 (CO2-t/年)
		戸	
		戸	
		戸	
		戸	
		戸	
合計		戸	

よって、住宅におけるCO2削減率は、

「(ベースラインのCO2排出量) - (対策後CO2排出量)」 / (ベースラインのCO2排出量) × 100

= % ≥ 100% (戸建住宅)

= % ≥ 60% (集合住宅)

②各タイプのCO₂削減率の算定（戸あたり）

< >（算定式）

< (集計表)

取組内容		ベースラインの CO2 排出量 (CO2-t/戸・年)	対策後の CO2 排出量 (CO2-t/戸・年)	削減率
省エネ	冷暖房			%
	給湯			%
	厨房			%
	照明			%
	家電			%
	HEMS 等			%
				%
				%
創エネ	太陽光 発電			%
				%
				%
合計			%	

7 タウンマネジメントに関すること



8 エネルギーマネジメントに関すること



9 グリーンマネジメントに関すること



10 その他

<問い合わせ先>

北九州市 建築都市局 区画整理課

電話093(582)2469